

2015 年度事業報告書

自 2015年4月 1日

至 2016年3月31日

1 組織活動

(1) 設立

2013 年 11 月 11 日に設立されたジャパン・コスメティックセンターを前身として、2015 年 4 月 1 日に一般社団法人として当法人を設立した。

(2) 定時総会

2015 年 6 月 24 日（水）に開催し、「2015 年度計算書類」、「2015 年度収支予算の補正」及び「ジャパン・コスメティックセンター2014 年度事業報告」を報告し、続いて「ジャパン・コスメティックセンター2014 年度収支決算」及び「理事の選任」をそれぞれ審議可決した。

総会后、当会の活動紹介、佐賀県地域産業支援センターの事業紹介、唐津市の助成事業等紹介及び会員企業プレゼン大会を実施した。

(3) 理事会

理事会設置法人として、次のとおり理事会を開催した。

回	開催日	議案
1	4 月 27 日（月）	①会長及び副会長の選定について ②顧問の設置について ③各国化粧品産業クラスターとの協定締結について
2	6 月 2 日（火）	①2014 年度事業報告及び収支決算の承認について ②2015 年度収支予算の補正について ③2015 年度定時総会の招集の決定について
3	10 月 6 日（火）	①規則、規程類の制定について ②コスメティックバレーとの協力連携協定の締結について

4	12月18日（金）	①理事会の決議を求めるべき「多額の借財」の基準の設定について ②処務規程の改正について
5	3月24日（木）	①2016年度事業計画について ②2016年度収支予算について ③会計規程の改正について

2 国際取引拡大事業

(1) フランス CV ビジネス交流事業

フランス・コスメティックバレー（CV）との提携を活かし、日仏企業間での化粧品・原料等の輸出入や仏製品の製造受託等を推進することを目的に、ジェトロの支援を受けながら、旧団体時代に創出していた商談案件のフォローを進めるとともに、パリで開催された Cosmetic360 への出展などにより新規案件の創出に務めた。これにより輸入案件3件（うち1件はあわせて施術技術も導入）、業務提携案件2件を成約させた他、30件超の商談案件を創出した。

また、唐津市に代わり当会と CV との間で協力連携協定を締結、先方との関係性をより強固なものとした。

<主な活動・動き>

- ・ 6月10日 第1回 RIT 国内研究会
- ・ 8月5日 第2回 RIT 国内研究会
- ・ 8月29日～9月5日 フランス訪問営業、関係機関訪問
- ・ 10月15日～16日 Cosmetic360 出展
- ・ 10月16日 当会と CV との協力連携協定締結
- ・ 11月16日 フランス大使館主催化粧品産業セミナー参加
- ・ 3月24日 第3回 RIT 国内研究会開催

(2) アジアビジネス開拓事業

アジア市場との商談・取引ルートを確立し、当会会員企業の化粧品・原料の輸出等を推進することを目的に、アジア市場や各国団体との接触を開始するととも

に、中国やインドネシアへの販路を持つ国内企業との事業協議を進めた。対アジアでは10件程度の商談案件を創出している。

<主な活動・動き>

- ・ 11月 11日～13日 コスモプロフ香港出展（事務局のみ）
- ・ 2月 23日～25日 台湾化粧品クラスター訪問

(3) クラスター提携の促進

CVとの連携を契機に、6月にはスペインBCBと、7月にはイタリアPTCとの協力連携協定を締結するに至った。その後、BCBとは日本において合同商談会を、PTCからはコスモプロフ・ボローニャへの優待招待を受けて先方会員企業と個別商談を実施、複数のフォロー案件が誕生した。

<主な活動・動き>

- ・ 6月 2日 Beauty Cluster Barcelona (BCB) との協力連携協定締結
- ・ 7月 8日 Polo Tecnologico della Cosmesi (PTC) との協力連携協定締結
- ・ 11月 13日～16日 PTC 会長来唐
- ・ 11月 24日 バルセロナにてBCB 会員企業17社と当会事務局が個別面談
- ・ 11月 25日 バルセロナ国際美容フォーラムにてスペイン企業100社へ当会を紹介
- ・ 1月 19日～20日 BCB 会員企業来日、唐津と東京で合同商談会を開催
- ・ 3月 18日～24日 PTC 会員企業視察、コスモプロフ・ボローニャ参加・商談

3 地域資源活用事業

(1) 地域事業化プロジェクト

地産素材を活用した新商品・サービスの開発を促進することを目的に、会員企業による商品開発を支援した。あわせて、商品開発費用の一部を助成する「商品開発スタートアップ助成」を実施した。

<主な活動・動き>

- ・ 7月 31日 商品開発スタートアップ助成公募開始（～8月 31日）
- ・ 9月 7日 商品開発スタートアップ助成事業3件採択（株式会社コスメディアラボラトリーズ、株式会社緑門、Luna）

- ・ 3月29日 唐津市内会員企業が地産オリーブを用いた化粧品開発を開始

(2) 地域資源活用促進事業

地域及び会員が持つ素材のコスメ原料素材化を推進することを目的に、素材の採取とサンプルの製造を進め、美容健康関連企業とのマッチングを推進した。また、域外企業からの素材栽培の打診を受け、地域での栽培受託のマッチングを実施した。

この他、地産素材PRのため、地元高校科学部が行う地産素材（さがんルビー）を用いたリップスティックづくりを全面的に支援、同校の活動は全国高校生マイプロジェクトアワードで文部科学大臣賞（優勝）を獲得した。

<主な活動・動き>

- ・ 4月28日 当会コスメ原料開発室の運営開始
- ・ 6月3日～5日 第7回化粧品産業技術展出展
- ・ 11月10日 玄海町生産者と会員企業の薬用植物トウキ売買へ向けた覚書締結
- ・ 3月1日 会員企業による唐津産無農薬レモンを採用した化粧品の発売開始
- ・ 3月17日 唐津市加唐島の団体と会員企業のツバキ油売買契約締結
- ・ 3月26日 唐津東高校が文部科学大臣賞を獲得

(3) 地域資源調査研究事業

コスメ原料素材となりうる地産素材の調査研究を行った。

<主な活動・動き>

- ・ 関係大学及び佐賀県工業技術センターと連携した機能性評価の実施
(22素材、58試料、各3～8項目)

4 コスメ環境整備事業

(1) セミナー・ビジネス交流事業

会員企業のビジネス機会創出のため会員相互の交流の機会を提供するセッション等を開催した。

<主な活動・動き>

- ・ 6月24日 会員企業プレゼン大会（参加者107名）

- ・ 8月27日 第10回セッション：国産無農薬原料への取組み、会員企業プレゼン（参加者39名）
- ・ 9月15日 第11回セッション：機能性食品（参加者27名）
- ・ 12月4日 第12回セッション：資金調達（参加者29名）
- ・ 12月17日 第13回セッション：地域資源を活かした商品開発（参加者44名）
- ・ 3月1日 第14回セッション：中国越境ECとインバウンド（参加者20名）

(2) 情報発信事業

当会活動の円滑化及び参画者・支援者拡大を図るため、ホームページなどで当会活動の周知を行った。また、会員企業・団体のビジネス機会の創出を図ることを目的に、会員リソースの情報発信を行うための会員情報紹介冊子の制作を開始した

<主な活動・動き>

- ・ ホームページの運営（23,491セッション、14,576ユーザー、69,880PV/年）
- ・ メールマガジンの発行（全30回、配信アドレス数610）
- ・ プレスリリースの発出（随時）
- ・ 広告掲載（財界九州9月号、健康産業新聞11/18号、動物実験代替法学会要旨集）
- ・ 9月より活動紹介番組「Kara 美 CHANNEL」を唐津市行政放送で放送開始、YouTubeへも掲載（2015年度全7回）
- ・ 会員情報紹介冊子の作成開始（日本語版・英語版）

(3) 産学連携支援事業

会員大学及び唐津コスメ構想エリア内の大学のシーズを把握整理して産業界へ提示し、ビジネス活用を推進することを目的に、展示会出展とセミナー開催を実施した。また、これまで獲得していない農林水産省系の競争的資金獲得を睨み、農水省産学連携協議会へ入会した。

<主な活動・動き>

- ・ 6月3日～5日 第7回化粧品産業技術展出展（再掲）
- ・ 2月23日 （株）アルビオンと佐賀大学の共同研究契約発表
- ・ 3月1日 大学の研究シーズ・リレープレゼン開催（参加者89名）

5 関連産業集積事業

(1) 企業等立地促進事業

構想地域への企業等の集積を促進するため、先進事例や業界ニーズを探る調査を実施するとともに、企業訪問や視察対応を実施した。

<主な活動・動き>

- ・ 6月2日 アルバン・ミュラー・インターナショナル・アジア設立表明
- ・ 9月3日 コスメ関連産業の集積可能性調査実施（先進事例、業界ニーズ）
- ・ 10月15日 唐津市がパリにて投資セミナーを開催（当会も側面支援）
- ・ 11月1日 (株)VILLAGE Inc. 唐津オフィス開設
- ・ 11月25日 唐津市がバルセロナにて投資誘致セッションを開催（当会も側面支援）
- ・ 12月2日 岩瀬コスファ(株)が唐津進出表明
- ・ 2月25日 (株)ライズウェーブが唐津進出表明
- ・ 3月12日 内閣府「地域しごと創生会議」で当会が事例発表
- ・ 2月～3月 日本進出を検討するフランス企業3社が来唐

(2) 教育・研究機能立地調査事業

構想地域への研究・教育機能の集積を促進することを目的に、関係機関との意見交換や先進事例視察を実施した。

<主な活動・動き>

- ・ 9月14日 国立研究開発法人科学技術振興機構「研究成果展開事業 世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム」提案…不採択
- ・ 11月5日～7日 韓国濟州島化粧品クラスター視察

6 専門人材配置

(1) 専門人材配置

当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置して業務を遂行した。

2015年度は、コスメ原料開発室の運営を担当するコーディネーター1名を5月

から、産学官連携分野のスーパーバイザー1名を8月から新たに配置した。

<専門人材体制>

- ・プロジェクトマネージャー1名
- ・チーフコーディネーター1名
- ・コーディネーター3名（国際担当1名、地域資源担当2名）
- ・スーパーバイザー3名

7 会員の状況

(1) 2014年度期末（旧ジャパン・コスメティックセンター）

正会員	109名
支援会員	15名
計	124名

(2) 2015年度期末

正会員	139名	（継続 92名、新規入会 47名）
支援会員	17名	（継続 14名、新規入会 3名）
計	156名	（継続 107名、新規入会 59名）